

## 算 数

以下で引用している問題は、すべて 2023 年度前期入試の問題です。

(あ) 計算力をしっかり身につけてください。いつも出題するような計算問題を速く正確に行えるよう、日頃からよく練習しておいてください。やみくもに計算するのではなく、計算を工夫することでより速く正確に行えるよう心がけてください。

問題 1 の(1)、(2)で基本的な計算の力を問いましたが、多くの受験生が取りこぼしなく高得点をとることができていました。(3)は面積や体積の単位に関する計算問題でした。教科書で学ぶ基本的な単位についても大切に学習してください。

(い) つるかめ算、和差算やニュートン算といわれるような、解き方の筋道に一定の定石のある問題も出題することがあります。

問題 2 の(1)、(2)のような問題で、計算を間違えたり問題の意味を取り違えたりしてしまうと、後半の問題で挽回するのが難しくなります。目新しさはなくても、限られた時間内にきちんと解答することは決して簡単なことではありません。よく準備しておいてください。

(う) 割合の問題の考え方は、小学校の算数の中でもきわめて大切なものです。速さの問題などを通して、割合の考え方をしっかりと身につけてほしいと思います。

問題 4 が速さの問題でした。速さの比を用いて考えていくという内容であり、比の考え方をしっかりと身につけていることが必要であったことは例年の出題と同様です。問題の状況を理解し、順をおって丁寧に考えていくことが大切です。ダイヤグラムなどの図を利用して、問題の状況とその時の位置や速さといった情報を整理しながら完答できるような準備をしてきてください。速さの問題に取り組む中で、このように状況を整理し、比を利用して考える練習を積んできてくれることを期待します。

(え) 式を書くことによって、考え方の筋道を整理していくことができます。日頃から答だけではなく式を書くように心がけてください。途中の式や考え方を書く問題を出題することもあります。

(お) 図形の問題では様々な見方ができることが大切です。問題の図にかかれていないことがらを自分で補って考えることができるように心がけてください。

問題3の(2)は図形の面積を求める問題でした。面積を求めることができる形を頭に整理しておき、それらの組み合わせで求める図形を作ることができるように考えてください。

問題5の(2)は立方体を切断した切り口を図示する問題でした。なんとなくのイメージだけではなく、どうして切り口がこのような形になるのかということ意識しながら考えてほしいと思います。

(か) 問題に応じて、臨機応変にいろいろと工夫することは大事なことです。一度解いた問題でも、どうすればもっと上手に解くことができるかを考える習慣をつけましょう。

問題2の(3)は、約分できない分数の和を求める問題でした。全体から約分できるものを引くと考えれば、2や3などで割り切れる数の和を求める問題になります。分数の部分が繰り返し現れると考えれば、整数の部分と分数の部分をそれぞれで足し算することで解決できます。

問題6は光の反射に関する問題でした。光の反射を考えるときには、反射せずにまっすぐ進む光を考えることが定石です。そのうえで、それが実際にはどのような経路をたどっているのかや、そこからどんなことが言えるのかといったことを考えることが大切です。

(き) 後期日程では前期と同様の出題形式ですが、前期より試験時間が10分長い分、じっくり考えてもらう問題も出題します。